＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　合唱指導の充実

【学校名】　米原市立双葉中学校

１　本校の概要

本校は、創立 79 年を迎える全校生徒 311 名の中規模校である。校区は、中山道と北國街道の中継地に位置しており、古くは古代豪族息長氏の繁栄や、賢夫人として全国的に有名な山内一豊の妻千代がすごした邸宅跡など、数々の歴史が残る。また、伊吹山を水源とし、琵琶湖にそそぐ天の川が流れ、豊かな自然環境が広がるとともに、水路と陸路が接合した交通の要衝として栄えてきた。歴史的にも古くから形成された旧在所に加え、近年は、大型商業施設の出店が相次ぎ、それにともなう住宅地の開発により、人口が増加傾向にある。

今年度は、学校教育目標を「夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～」とし、自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生の育成を目指し教育活動に取り組んでいる。

２　取り組んだ内容

（1）音楽科の取組

音楽科の授業では、主体的に音楽活動へ取り組むことを重視し、楽曲の特徴によって感じ方が変わることに気づいたり、表現を創意工夫したり、音楽の良さや美しさを味わいながら鑑賞したりすることを大切にしている。

また、本校では、伝統的に合唱活動に力を入れており、合唱コンクールではどの学級もレベルの高い合唱が披露されている。仲間と共に合唱することで、音楽的な協調性や能力を身につけるだけに留まらず、その過程で培われる一体感や相互理解など、学級で一つの曲に取り組むことにより、大きな教育効果が期待できると考える。

加えて、今年度は、滋賀県音楽教育研究発表大会の研究演奏で、３年生が学年合唱を発表することになり、いただいた助成金で滋賀県版合唱図書「SCHOOL DAYS」を学年生徒数分購入して指導を行った。

（2）研究演奏に向けての取組

研究演奏では、３年生９４名で合唱曲「信じる」を発表することになった。この曲は、谷川俊太郎さんの詩と松下耕さんの作曲による、深いメッセージ性を持つ楽曲である。2004 年の NHK 全国学校音楽コンクールの中学校の部課題曲として発表され、友情や希望、未来を信じる力をテーマにしている。

指導にあたっては、次々と変わっていく曲調の中で、各パートの旋律の重なり方の違いと、それらが生み出す全体の響きの美しさを感じ取りながら合唱することを大切にした。また、歌詞に込められた思いを聴く人に届けるために、どう歌うか、そのために一人ひとりの表現の技能を仲間とともにどう高めていくかを考えさせながら指導を進めた。要所要所で、ゲストティーチャーにもご指導いただき、発声や発音、声部の役割等についても学ぶことができ、曲への理解が深まった。

３　活動の成果

研究演奏に向けての合唱指導は６月にスタートし、９月から１０月にかけては合唱コンクールの取組と並行して行ってきた。学年合唱は今年度初めての取組でもあり生徒には戸惑う様子も見られたが、合唱コンクールが終わり、研究演奏に向けていよいよ残り１か月という時期になると練習にも熱が入るようになり、日に日に上達していく様子が見られた。ゲストティーチャーや滋賀県中学校教育研究会音楽部会の先生方にご指導いただけたことも、合唱技術を飛躍的に向上させるきっかけとなった。

本番を想定した練習として、本番会場での２回のリハーサルに加え、本校体育館で１、２年生に向けて合唱を披露したことは、下級生が３年生の合唱に憧れを抱くよい機会となった。また、音楽室に合唱図書を常設できたことで、学校全体の合唱に対する意識を高めることにも繋がった。

研究演奏を終えた３年生からは、「本番では、『練習してきて良かった』、『この学年でよかった』という思いでいっぱいになりました。」　「学年が１つになった感覚がありました。みんなで歌えて良かったです。」といった感想が聞かれた。学年合唱は、学年全体の一体感を生み出し、生徒の集団への所属意識を高める取組となった。来年度以降も、合唱図書「SCHOOL DAYS」を有効活用し、双葉中学校の合唱をさらに高めていきたい。